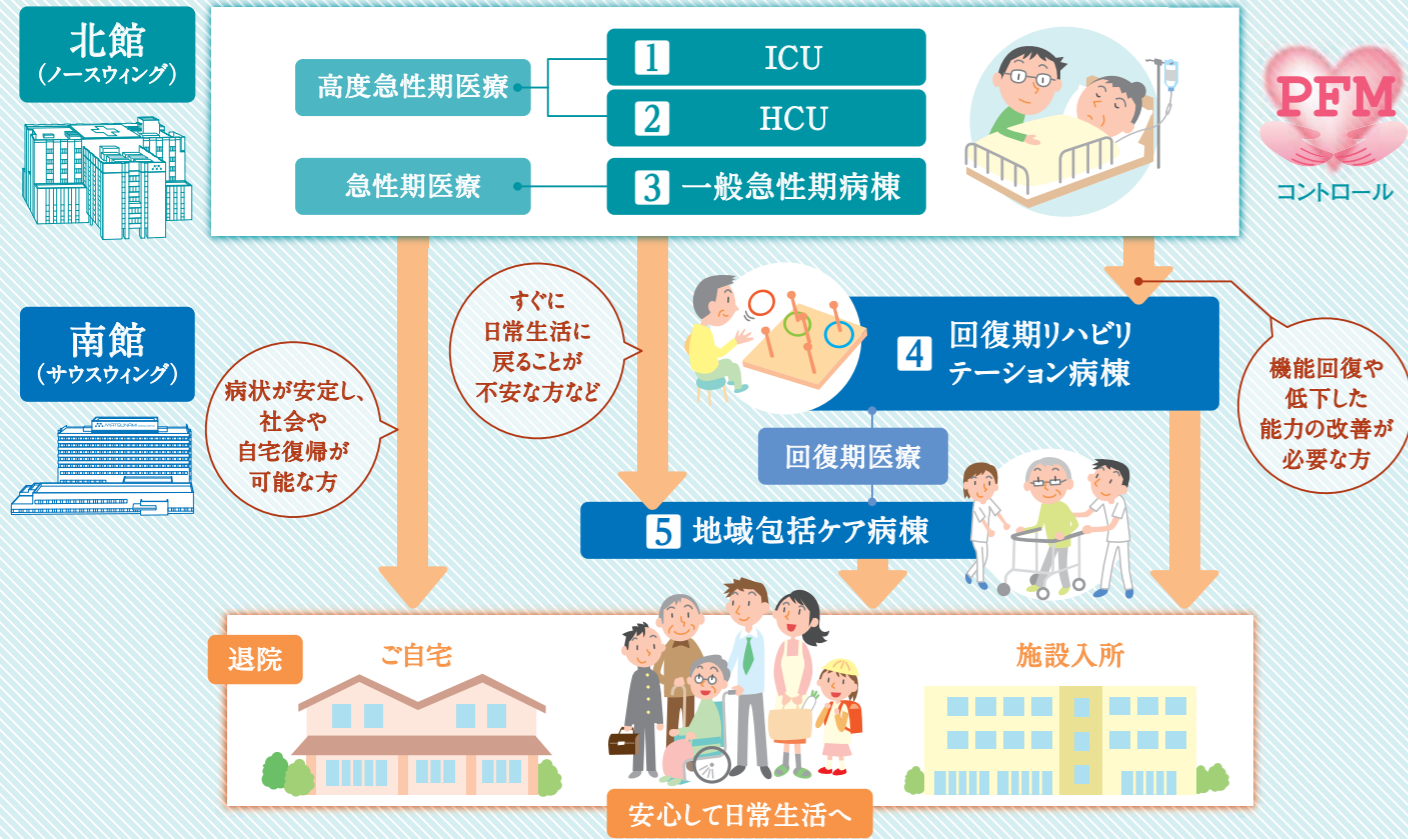


## 安心入院・納得退院を支える 5種類の病棟

急性期で治療を受けた後、すぐ社会復帰できる患者様もいれば、身体の機能や日常動作に不安を抱える患者様もいます。当院では安心入院・納得退院を第一に考え、5種類の病棟を用意することで、それぞれのケースに適した体制を整えています。



## 着々と進むスーパーケアミックス構想

～質の高い「医療+福祉」の実現に向けて～



人口減少と高齢化が進む中、高度急性期医療と共に、安心して地域で暮らせるお手伝いができるように医療を提供し、地域行政と連携して安全安心な街づくりに貢献していきます。

## まつなみ News

### 笠松町AED設置 巡回町民バス出発式

●10月2日(木)

笠松町に自動体外式除細動器(AED)を寄贈いたしました。

このAEDが設置された笠松町公共施設巡回

町民バスの出発式が先日、福祉会館にて執り行われました。新型バス2台はすでに運行が開始されており、設置されたAEDは緊急事態に備えて活用されます。



### 外来診療のご案内

#### ノースウイング(北館) ●初診の方は紹介状をご持参ください。

- 眼科 ■ 泌尿器科 ■ 健診科 ■ リウマチ科 ■ 産婦人科 ■ 放射線科
- 脳神経外科 ■ 神経内科 ■ 耳鼻咽喉科 ■ リハビリテーション科 ■ 整形外科

紹介状をお持ちの方 ■ 内科 ■ 循環器内科 ■ 小児科

●時間外診療はノースウイング(北館)にお越しください。

#### まつなみ健康増進クリニック

- 外科 ■ 呼吸器内科 ■ 腎臓内科 ■ 皮膚科 ■ 呼吸器外科 ■ 血液内科
- 大腸肛門科 ■ 形成外科 ■ 心血管外科

紹介状をお持ちではない方 ■ 内科 ■ 循環器内科 ■ 小児科



## あらゆるケースに対応できる 充実の病院・病床機能

今年9月、「地域包括ケア病棟」が新設され、5つの病床群が揃いました。さらに、入退院の患者様をサポートする「入退院(PFM\*)センター」もスタート。さまざまなリスクに対応しながら、柔軟な運用が可能な当院の医療機能を紹介します。

※PFM/Patient flow management



### 「救急から在宅まで」 機能別の病床群が揃う

医療機関が病棟の機能を都道府県に報告する「病床機能報告制度」が今秋スタートしました。しかし当院では、北館(ノースウイング)オープンを契機に、「救急から在宅まで」を合言葉として、機能別の病床群をいち早く整えてまいりました。急性期医療はその重症度から、「ICU(Intensive care unit)」と「HCU(High care unit)」そして「一般急性期病床」の3病床群を完備。さらに今年9月には、急性期治療の後、体力の衰えなどのために退院ができない方に対して、体力を回復して在宅復帰していただく「地域包括ケア病棟」を南館4階に新設し、従来のリハビリ病床(南館3階)と合わせて2病床群で安心して在宅退院できるように整備しています。



### 入退院の不安を取り除く 「入退院(PFM)センター」

これら5つの病床群を有効に活用していただくには、入退院の患者様をサポートする部署が必要です。そこで各病棟のコントロールタワーとして、北館1階に「入退院(PFM)センター」が誕生しました。ここでは予約入院の方を中心に、病状、ご家族の状況、社会環境などをお伺いし、病床の説明や入院後の生活についての情報を提供しています。

また、退院後、介護環境の整備が必要な場合は、相談員(社会福祉士)と連携して早めに情報提供ができるようにしています。



副院長・総合内科部長  
地域医療介護連携センターセンター長 村山 正憲

【所属学会】日本内科学会、日本糖尿病学会、日本感染症学会、日本病院総合診療医学会、日本内分泌学会、日本血液学会、日本リウマチ学会

# ノースウイング

## 集中治療室・高度治療室 | ICU・HCU

### 高度救急医療を提供する2つの病棟

集中治療室(ICU)は超急性期の重篤な状態で、迅速かつ高度な治療が必要な患者様が対象になります。救命を最優先とし、様々な医療機器を使用して、全身管理を行います。患者様を受け持つ、看護師の人数の割合も多く、集中的に管理が可能です。

高度治療室(HCU)は、救急を要し、

高度な医療を行うための病棟になります。ICUと一般病床の中間に位置する病棟で、ICUよりも状態が安定した患者様が対象となります。具体的には、ICUで治療を行う状態が改善した方、重症度の高い方・看護度の高い方、術後急性期の方などが入室されます。

ICUは救命処置や高度な治療を

行う事を目的とするため、状態が改善する頃には、十分なリハビリテーションや社会復帰に向けた準備が不足のまま一般病棟へ移床することになります。そこで、HCUと連携することにより、高度な医療を継続的に効率良く提供し一般病棟への移床に向けて、患者様が安心して社会復帰への準備が行えます。



#### ICU(集中治療室)

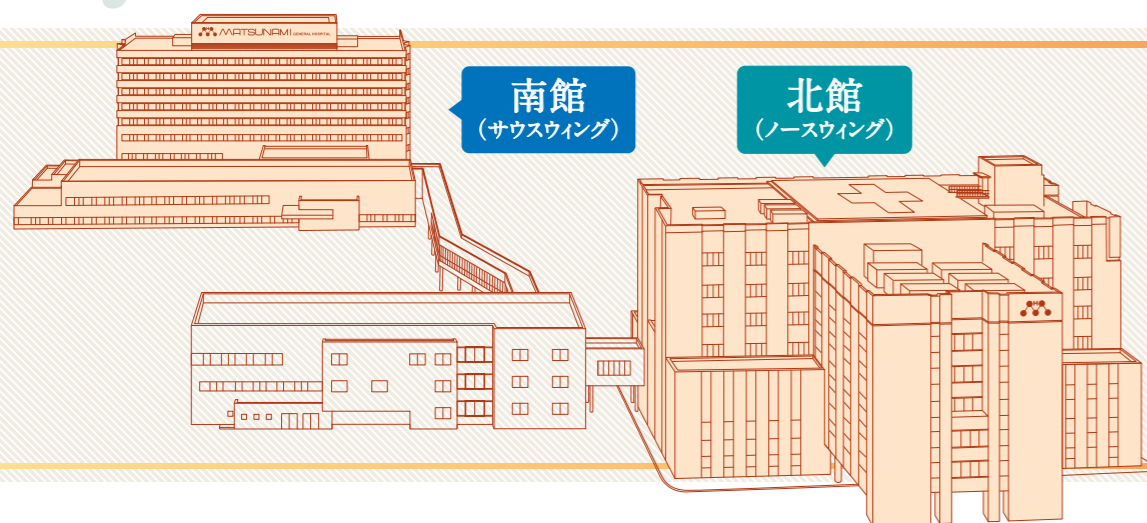
重篤な機能不全の状態にある患者様に対して、様々な職種の専門スタッフと連携し、24時間集中的に全身管理を行い、高度で質の高い医療・看護を提供します。

ICU看護部長 柴原 成郎

#### HCU(高度治療室)

ICU管理に至らないまでも、高度な治療や看護を必要としている重症な患者様を24時間体制で受け入れる病棟です。救急部とも連携し、緊急入院が必要な患者様を受け入れています。

HCU看護部長 長柄 敦子



「機能別の病床群で、急性期医療(北館)から回復期医療(南館)までを担う。」  
新しい医療提供体制、始まる!

## 地域包括ケア病棟 | Local blanket care ward

### 在宅復帰に向けた治療・退院支援を行う

今年9月、地域に密着した病棟を目指し、南館(サウスウイング)4階に誕生した「地域包括ケア病棟」。この病棟は、入院治療後、病状が安定した患者様に対して、退院支援を効率的かつ密度高く行い、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療支援を行うことが目的です。

今までは、一般病棟で症状が安定

すると、早期に退院していただいております。しかし、ご自宅や施設等での療養に不安があったり、もう少し入院治療を継続することで改善が見込まれると感じている患者様やご家族の方も少なくありませんでした。こうしたケースにお応えするのが「地域包括ケア病棟」です。医師や看護師、メディカルソーシャルワーカーやリハビリスタッフが協力して、患者様の



在宅復帰に向けた治療・退院支援を行います。入院日数は最大60日ですが、患者様が安心して退院していただけるよう支援しますので、ぜひご利用ください。

#### 地域包括ケア病棟とは?

急性期病棟などでの入院を終えた後、すぐ在宅や施設入所へ移行することに不安な患者様が対象です。主治医が入院療養の継続の必要性を認めた場合、在宅復帰支援計画に基づいて、地域包括ケア病棟にて継続入院となります。入院期間は状態に応じ調整いたします。

地域包括ケア病棟看護部長 松浦 郁恵

## 回復期リハビリテーション病棟 | Convalescence rehabilitation ward

### 集中的なりハビリテーションで復帰を後押し

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)や脊髄損傷、大腿骨骨折・骨盤骨折などのために急性期治療を受けた後、リハビリテーションが必要な方

に転棟していただく病棟です。さまざまな職種(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員、管理栄養士、薬剤師など各分野の専門スタッフ)が協働して、患者さん一人一人の状態に合わせたリハビリプログラムを作成し、機能回復のためのリハビリテーション医療を集中的に行っています。



回復期リハビリテーション病棟部長 川口 雅裕

#### 回復期リハビリテーション病棟とは?

症状が安定し始めた症状から1~2ヶ月後に転棟していただく病棟です。ここでは、低下した能力を再び獲得するために「集中的なりハビリテーション」を行い、寝たきり防止や社会・自宅復帰を目指します。入院期間は対象となる疾患によって異なり、60日~150日です。

回復期リハビリテーション病棟看護部長 田中 清美